

学びは常に玉川の丘に用意されています。  
通信教育部で学んだ先輩を中心に、現在の仕事や地域での活躍をインタビューします。

# 生涯学へ第16回 指導でなく助言を



**稲嶺盛久** 沖縄県立総合教育センター研究主事  
1991年通信教育部で小学校二種教員免許取得、  
2012年学士学位取得(大学卒業)、小学校一種教員免許取得

1993

入学3年目、通大祭の実行委員を務める。テーマは「今を生きる——偶然ではなく必然の出会い」。学生会は社会の縮図。多くを学んだ



『玉川通信』五月号に、今年の通大の卒業式で卒業証書を受け取る自分の写真を見つけ、すごく嬉しかったですね。正科生として入学したのが二一歳、一九九〇年です。から、学位取得までに足掛け二二年かかりました。

理科系の大学進学をめざし、二浪していたときに、人間相手の仕事をしたいと進路変更。必ず小学校の教員になる、それも自分が生まれ育った大好きな沖縄で教員になると心に決め、上京して働きな

子どもの幸せな笑顔を見たくて教壇に立つ  
試されるのは、常に自分自身の生き方

がら通信教育を受ける道を選択しました。レポートと格闘しながら、夏期スクーリングが待ち遠しかったですね。始まってみると、玉川での時間の濃さと熱さといった予想以上でした。仲間や先生との討論、授業の面白さ、何より、学生会にはまってしまつて。

入学後一年半で小学校教員二種免許状を取得、五年目の一九九五年には沖縄県の教員採用試験に合格して、二六歳で念願通りふるさとで教員になりました。その間の

自分は学生会と共にあった感じで、通大祭の実行委員長、学生会会長も務めさせてもらったんです。

学生会では職業も年齢も多様、通大祭の企画から教育問題まで、経験も理想もないまぜに意見を闘わせました。沖縄は島のせいかわからないでも分かる気安さがあるけれど、「伝える」ってこんなに大変なことだと学びましたね。

教員としてスタートしたとき、通大では卒業まであと一六単位だったんですが、小学校で毎日子ども相手に授業をしていると、楽しくて仕方ない。教材研究や学級経営に夢中であるうち、卒業期限が過ぎて除籍となつてしまいました。

2005

僻地勤務から沖縄県一のマンモス校に赴任。沖縄市立高原小学校時代に首里城に遠足。学級経営に熱中し、子どもたちと共に30代を駆け抜けた



2012



沖縄県立総合教育センターの研究主事として小学校に道徳の出前授業。先生たちに参観してもらい、授業の具体的な進め方を提示する

僻地勤務、沖縄一のマンモス校勤務を経て、四校目では担任を持ち学年主任をしながら、新任教員を指導する初任者研修も担当。分身の術が使いたいほど、いろんな場面を体験しました。でも、若い先生が試行錯誤しながら新しい教材開発をしたりする姿が、自分も決してマンネリにならないぞと、いい刺激でした。

今年こそ大学卒業をめざし、昨年、四一歳で通大に再編入。ところが、編入と同時に、沖縄県立総合教育センターへまさかの異動になったんです。  
研究主事として教科研修班に所属し、学習指導要領に沿って授業などが行われるように、子どもたち相手ではなく、いわば学校相手に教える立場です。自分が担任から離れるなんて信じられなかったし、周りは各教科のスペシャリスト。異例の異動でしたが、奮起ができて、ついに通大の卒業も果たすことができました。

現在、私は総合的な学習の時間と道徳を担当し、研究と指導をしています。いずれも数値目標がなく、問題解決力や生きていくため

の価値観をどう身につけるかという教科です。現場も指導に戸惑っているケースが多い。そこで具体的な実践法を紹介し、どう授業を進めるかを提示していきます。センターで行う研修会や講演の運営のほか、小中学校に行つて、先生方に授業の指導をする出前講座や、児童生徒相手の授業を見てもらう出前授業のために、離島も含めて県内を飛び回る日々です。

あくまでも一緒に考えるという気持ち。持ちを忘れてはいけないと思つています。行政・教員・保護者と立場は違つても、子どもを幸せにしたい願いは同じ。お互い本音で相手に寄り添つていけたらと。  
学級経営に夢中でしたが、学年主任をしてみると、学年の輪がいかに大切か、視野が広がりました。さらに研究主事の仕事を、学校全体を見る視点の必要性を感じ、学校経営を考えたいと管理職試験を受けて、この秋に合格しました。沖縄に生まれ、この地域の小学校でよかつたと、子どもたちが生き生きと過ごせるように、力を尽くしていきたいと思つているんです。

## 通大の在籍者データ その②

玉川大学の通信教育部は、小学校教員の養成に力を入れている通信教育課程。教員採用試験において高い実績を上げており、「小学校コース」を選択する学生は正科生の7割以上を占めている。いっぽう、近年の地域文化向上の機運を受け、司書や学芸員資格取得をめざす学生も着実に増加している。

### 目的別入学者(正科生)

